



学校法人中央大学

理事長 深澤 武久

日頃から、本学の運営について学員の皆さまをはじめ、関係各位の皆さまのご支援とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

この「中央大学の近況」は、中央大学の現状をお知らせする広報誌として年2回、7月と12月に発行し、今回で13回目の発行となります。

さて、本学は今年創立130周年という節目の年を迎え、先日（10月25日）開催のホームカミングデーは、天候に恵まれ例年より多くのOB・OGやご家族などのご参加を頂くなか、創立130周年特別企画を盛り込むなど、活気に満ちた中央大学と「オール中央の絆」を強く感じて頂けたことと思います。

その開会式のご挨拶で本学の5年後、10年後を見据えた、中央大学中長期事業計画「Chuo Vision 2025」が評議員会で承認され、新たな中央大学が一步一步着実に前進をはじめたことをご紹介します。

この中長期事業計画の主要なものは以下の通りであります。1. グローバル戦略の推進。2. 難関国家試験の合格支援。3. 新学部の創設により総合大学としての機能を強化。4. 多摩と都心の二大拠点キャンパスの充実。5. スポーツ振興（①2020年東京オリンピック・パラリンピックに在学学生、卒業生を含め20人以上の本学代表選手を送り出す。②5年以内に箱根駅伝5位以内、10年以内に優勝を目指す。③教職員・在学生・卒業生の一体化を実現するような競技種目を重点支援。）であります。

この基本方針に沿って、法人と教学が一体となって具体的なアクションプランを策定してまいります。

このような計画を進めている一方で、本学の今年度の司法試験合格者が170人と3年ぶりに全国1位に返り咲き、国家公務員採用総合職試験（私大）でも早慶に次ぐ3位と力を発揮しています。また、スポーツ面においても、学友会各運動部が活躍している姿をご覧頂けると幸いです。最近では、正月に行われる東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会を通過して、本戦87回連続出場を決めるなど、選手諸君の活躍がおおいに期待されるところであります。各運動部や選手を応援して頂きました皆さまには、心から御礼申し上げます。

最後に、本学にはまだまだ乗り越えなくてはならない課題が山積しておりますが、どのような時代でも社会の要請に応えられる学生の教育に力を注いでまいりたいと考えております。

今後とも皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。